日本BS放送株式会社

2026年８月期　（決算補足説明資料）

2026年10月８日

証券コード：9414

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

目次

Ⅰ　決算概況　P2

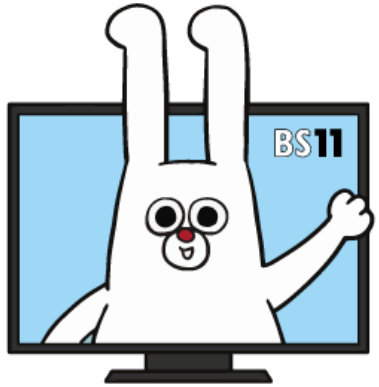
Ⅱ　重点実施事項トピックス　P10

Ⅲ　通期計画　P16

Ⅳ　(ご参考)会社概要　P22

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

Ⅰ　決算概況



© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11日本BS放送

2026年８月期　総括（連結）

売上高　11,921百万円（前期比0.9%増↑）

営業利益　1,769百万円（前期比8.4%減↓）

2026年８月期　総括（個別）

売上高　11,144百万円（前期比1.0%増↑）

営業利益　1,821百万円（前期比8.4%減↓）

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

損益計算書の概要（連結）

BS11日本BS放送

売上高は11,921百万円（前期比0.9%増）、営業利益は1,769百万円（前期比8.4%減）、
親会社株主に帰属する当期純利益は1,298百万円（前期比3.5%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2025年8月期	2026年8月期						
		実績	前期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因（前期比）
売上高	11,812 (100.0%)	11,921 (100.0%)	0.9%	109	12,576 (100.0%)	△5.2%	△654	（売上高） ・放送事業収入　・・・△203百万円 ・その他収入　・・・+309百万円 ・その他収入（子会社）・・・+3百万円
売上原価	6,184 (52.4%)	6,409 (53.8%)	3.6%	225	―	―	―	
売上総利益	5,628 (47.6%)	5,512 (46.2%)	△2.1%	△116	―	―	―	（売上原価） ・番組制作費　・・・+341百万円 ・減価償却費　・・・△72百万円
販管費	3,696 (31.3%)	3,742 (31.4%)	1.3%	46	―	―	―	（販管費） ・広告宣伝費　・・・+39百万円
営業利益	1,932 (16.4%)	1,769 (14.8%)	△8.4%	△162	1,804 (14.3%)	△1.9%	△34	
経常利益	1,985 (16.8%)	1,868 (15.7%)	△5.9%	△116	1,888 (15.0%)	△1.0%	△19	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,345 (11.4%)	1,298 (10.9%)	△3.5%	△46	1,306 (10.4%)	△0.6%	△7	

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書の概要（連結）

BS11日本BS放送

貸借対照表

（単位：百万円、下段は構成比）

	2025年8月期末	2026年8月期	
		期末	前年増減額
流動資産	17,223 (64.0%)	17,279 (62.8%)	56
固定資産	9,675 (36.0%)	10,217 (37.2%)	542
資産合計	26,898 (100.0%)	27,497 (100.0%)	598
流動負債	2,342 (8.7%)	2,163 (7.9%)	△179
固定負債	129 (0.5%)	143 (0.5%)	14
負債合計	2,472 (9.2%)	2,307 (8.4%)	△165
純資産合計	24,426 (90.8%)	25,190 (91.6%)	763
負債・純資産合計	26,898 (100.0%)	27,497 (100.0%)	598

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2025年8月期	2026年8月期
営業キャッシュ・フロー	1,828	1,415
税金等調整前当期純利益	1,985	1,868
減価償却費	473	396
棚卸資産の増減額（△は増加）	△87	△117
仕入債務の増減額（▲は減少）	130	9
未払金の増減額(▲は減少)	28	△12
未払消費税等の増減額（▲は減少）	△122	△51
法人税等の支払額	△681	△695
投資キャッシュ・フロー	△4,536	△1,131
定期預金の払戻による収入	―	14,000
定期預金の預入による支出	△3,000	△14,000
有形固定資産の取得による支出	△28	△150
投資有価証券の取得による支出	△1,498	△1,260
有価証券の償還による収入	―	300
財務キャッシュ・フロー	△455	△515
短期借入れによる収入	140	130
短期借入金の返済による支出	△60	△110
配当金の支払額	△534	△534
現金及び現金同等物の増減額	△3,163	△231
現金及び現金同等物の期首残高	6,152	2,988
現金及び現金同等物の期末残高	2,988	2,757

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

損益計算書の概要（個別）

BS11日本BS放送

売上高は11,144百万円（前期比1.0%増）、営業利益は1,821百万円（前期比8.4%減）、
当期純利益は1,359百万円（前期比3.9%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2025年8月期	2026年8月期						
		実績	前期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(前期比)
売上高	11,039 (100.0%)	11,144 (100.0%)	1.0%	105	11,800 (100.0%)	△5.6%	△655	・タイム収入の減少　・・・△271百万円 ・スポット収入の増加・・・　+67百万円 ・その他収入の増加　・・・ +309百万円
売上原価	5,727 (51.9%)	5,958 (53.5%)	4.0%	230	—	—	—	
売上総利益	5,311 (48.1%)	5,186 (46.5%)	△2.4%	△125	—	—	—	（段階利益） ・売上原価の増加 ・販管費の増加
販管費	3,322 (30.1%)	3,364 (30.2%)	1.3%	41	—	—	—	【売上原価】 ・放送事業収入の最大化及びその他事業収入の拡大に向けたコンテンツへの投資推進
営業利益	1,988 (18.0%)	1,821 (16.3%)	△8.4%	△166	1,800 (15.3%)	1.2%	21	【販管費】 ・視聴者接点拡大のための新聞広告を中心とした宣伝活動の強化
経常利益	2,043 (18.5%)	1,924 (17.3%)	△5.8%	△119	1,886 (16.0%)	2.0%	38	
当期純利益	1,413 (12.8%)	1,359 (12.2%)	△3.9%	△54	1,305 (11.1%)	4.2%	54	

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

売上区分別実績（個別）

BS11日本BS放送

（単位：百万円、下段は構成比）

	2025年8月期	2026年8月期				
		実績	増減額	前期比	計画	計画比
売上高	11,039 (100.0%)	11,144 (100.0%)	105	1.0%	11,800 (100.0%)	△5.6%
タイム収入	8,155 (73.9%)	7,883 (70.7%)	△271	△3.3%	8,287 (70.2%)	△4.9%
スポット収入	2,038 (18.5%)	2,105 (18.9%)	67	3.3%	2,263 (19.2%)	△7.0%
その他	845 (7.6%)	1,155 (10.4%)	309	36.6%	1,249 (10.6%)	△7.5%

主な増減要因（前期比）

- **タイム収入**

  スポーツカテゴリーの充実による特番セールスが好調だったが、ショッピングカテゴリーが伸び悩み、前期比△3.3%

- **スポット収入**

  コンテンツの強化・拡充や、日中帯ドラマを軸とした編成戦略の強化等により、純広スポット、通販スポットともに前年を超え、前期比+3.3%

- **その他**

  TVerをはじめとした配信事業収入やアニメ製作委員会からの出資配当収入、イベント事業収入の好調により、前期比+36.6%

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

主要費用項目実績（個別）

BS11日本BS放送

（単位：百万円、下段は売上比）

	2025年8月期	2026年8月期			
		実績	前期比	増減額	主要な増減要因
番組関連費用（原価）	3,724 (33.7%)	4,012 (36.0%)	7.7%	288	
番組購入費	406 (3.7%)	353 (3.2%)	△13.2%	△53	・ドラマコンテンツの編成戦略の一環として行った調達コンテンツの見直しによる費用減
番組制作費	3,317 (30.1%)	3,659 (32.8%)	10.3%	341	・既存コンテンツの強化及び新規コンテンツの開発 ・良質なアニメコンテンツの確保 ・イベント施策の充実
放送関連費用（原価）	550 (5.0%)	537 (4.8%)	△2.4%	△12	
放送委託費	487 (4.4%)	468 (4.2%)	△4.0%	△19	
技術費	62 (0.6%)	69 (0.6%)	10.1%	6	
広告関連費用（販管費）	734 (6.7%)	775 (7.0%)	5.6%	41	
広告宣伝費	690 (6.3%)	731 (6.6%)	6.0%	41	・視聴者接点の拡大に向けた新聞広告を中心とした宣伝活動の強化
販売促進費	43 (0.4%)	44 (0.4%)	0.2%	0	

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

貸借対照表（個別）

BS11日本BS放送

（単位：百万円、下段は構成比）

		2025年8月期末	2026年8月期		
			実績	前年増減額	主要な増減要因
	流動資産	16,725 (63.3%)	16,848 (62.2%)	123	・その他棚卸資産(出資アニメ作品の未放送原価)の増加 +134百万円
	固定資産	9,681 (36.7%)	10,226 (37.8%)	544	・機械装置減価償却累計額の増加 △178百万円 ・投資有価証券の増加 +764百万円
資産合計		26,407 (100.0%)	27,075 (100.0%)	667	
	流動負債	1,912 (7.2%)	1,740 (6.4%)	△172	・未払法人税等の減少 △110百万円 ・未払消費税の減少 △52百万円
	固定負債	128 (0.5%)	143 (0.5%)	15	
負債合計		2,040 (7.7%)	1,883 (7.0%)	△157	
純資産合計		24,366 (92.3%)	25,191 (93.0%)	824	・利益剰余金の増加 +824百万円
負債・純資産合計		26,407 (100.0%)	27,075 (100.0%)	667	

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

Ⅱ　重点実施事項トピックス

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11日本BS放送

Value

Ⅰ．放送事業収入の最大化

タイムテーブルの戦略的強化、視聴者ニーズの分析徹底

Value

Ⅱ．独自IPコンテンツの開発加速

IPの積極活用による多面的な事業展開、コラボレーション施策の推進

Value

Ⅲ．アニメビジネスの収益基盤拡充

良質なアニメコンテンツの確保、新規事業の推進

Value

Ⅳ．企業価値向上のための戦略的投資

新たな領域への投資機会の追求、持続的成長を実現する環境構築

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11日本BS放送

Value Ⅰ．放送事業収入の最大化

日中帯を中心にドラマコンテンツのラインアップを強化し、時代劇や国内サスペンスコンテンツの拡充に取り組んだほか、報道番組のリニューアルやゴルフ番組の開発等、自社制作番組を中心に強化。

国内時代劇

©東映

『名奉行 遠山の金さん』

主演 松方弘樹さんの大人気シリーズ。遠山金四郎が町人を装い、数々の事件を解決していく勧善懲悪の人気時代劇。

国内時代劇

©ABCTV/松竹

サスペンス

サスペンス

©松竹

中国時代劇

© 2011 上海唐人電影制作有限公司 All Rights Reserved.
提供：アジア・リパブリック5周年

韓国ドラマ

©2010 MBC

欧州ミステリー

© ITV Studios Limited 2022

報道

『報道ライブ インサイドOUT』

2025年10月より、新キャスターに近野宏明さんを迎え、番組コンセプトやスタジオセットを一新。 世界の時事から身近な生活の話題まで幅広くお届け。

ゴルフ

『飯島茜のアカネ式！大学女子ゴルフ部』

女子プロゴルファーの飯島茜さんが、大学ゴルフ部女子選手の悩みを"アカネ式"レッスンで解決するゴルフ番組。

ゴルフ

『マイナビ ネクストヒロインゴルフツアー 2026』

若手女子ゴルファーの登竜門「マイナビネクストヒロインゴルフツアー」。年間18試合の熱戦を模様をお届け。

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11日本BS放送

Value Ⅱ．独自IPコンテンツの開発加速

強力なIPコンテンツの創出に向け、グループ会社や他局とのアライアンスを強化し、ドラマ制作やイベント企画を推進。

独立放送局ならではの自由度の高い番組編成を活かし、引き続き全国各地の放送局とコラボレーションを展開。

自社制作ドラマ

制作著作：BS11/東京コンテンツラボ
©雨上がりのスカイツリー制作委員会

人気作家 高森千穂さんによる国土社刊行の児童書「雨上がりのスカイツリー」を原作としたドラマを制作。俳優の上地雄輔さんらをキャストに迎え、U-NEXTやTVerでの配信、BS11での放送を実施。

コンサート

㈱エフエム東京、㈱プロデュースNOTEと3社協業で昭和100周年を記念し、宝塚歌劇団トップ男役のOGレジェンドスターたちと日本が誇るレジェンドシンガーの、時代を超えた名曲を歌い上げる一夜限りのメモリアルコンサートを日本武道館で開催。

➢ 主な共同制作コンテンツ（抜粋）

情報・エンタメ

紀行・教養

紀行・教養

紀行・教養

紀行・教養

紀行・教養

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11日本BS放送

Value Ⅲ. アニメビジネスの収益基盤拡充

アニメ作品の獲得競争が激化する中でも、人気シリーズの新作から話題の注目作品まで、毎クール業界屈指の放送枠を維持。
㈱壽屋との商品化展開をはじめ、他社との連携を通じて、ビジネスフィールドの拡大も推進。

➢ **各クール約40タイトルのアニメ関連番組を放送**

©川上泰樹・伏瀬・講談社／転スラ製作委員会

©理不尽な孫の手／MFブックス「無職転生Ⅲ」製作委員会

©オザキアキラ／集英社・「うちの弟どもがすみません」製作委員会

©ピュー・バーグハンバーグバーグ・小学館クリエイティブ／関東怪奇組

©キルクスコレクション協会／「グロウアップショウ」製作委員会

©成田良悟・TYPE-MOON/KADOKAWA/FSFPC

©塀（秋田書店）／上伊那ぼたん製作委員会

©2026 八月八・大橋キッカ／KADOKAWA／「異世界の沙汰は社畜次第」製作委員会

BS11 × KOTOBUKIYA CRAFTSMANSHIP
コトブキヤくじ KOTOBUKIYA KUJI

前期より取り組む㈱壽屋との協業施策。BS11にて放送した人気アニメ作品のオリジナルグッズをオンラインくじの形式で展開・販売する取り組み。
今期は、複数作品で展開。

©松井優征／集英社・逃げ上手の若君製作委員会

TVアニメ『逃げ上手の若君』POP UPコーナー in 松屋浅草 Anime Culture Center

2026年6月より、キャラクターグッズの企画・販売等を手掛ける㈱A3と連携し、人気アニメ『逃げ上手の若君』のオリジナルグッズを企画、東京・松屋浅草3階のAnime Culture Centerにて販売する取り組みを実施。

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

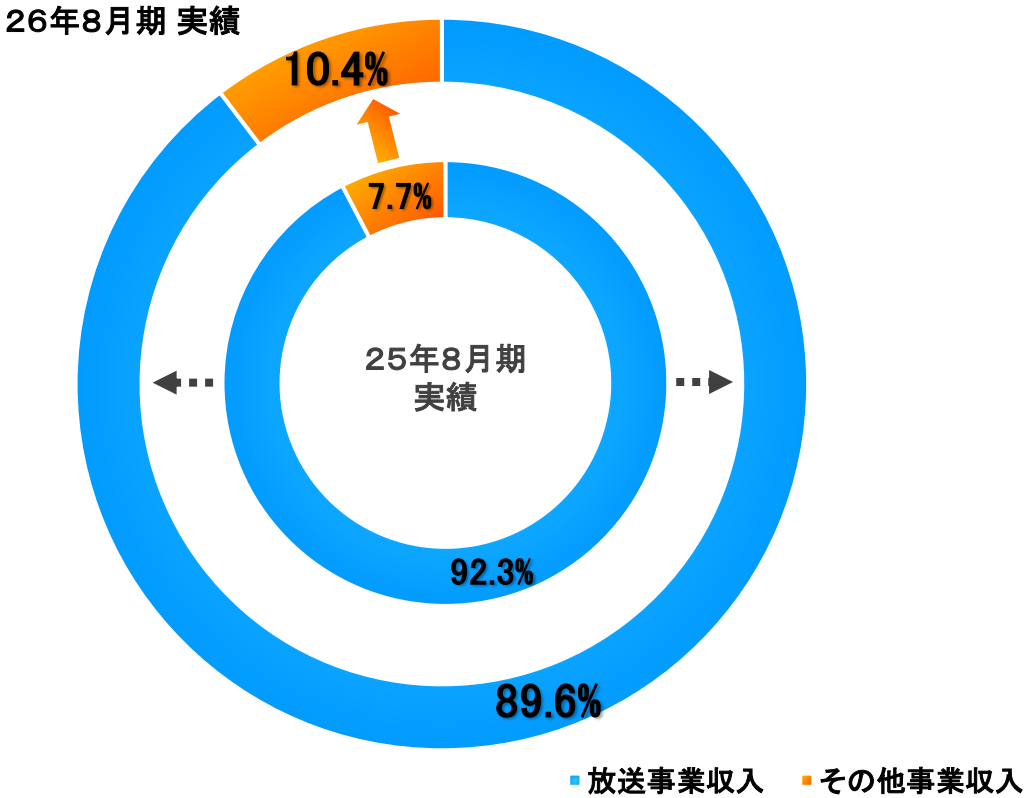
BS11 日本BS放送

Value

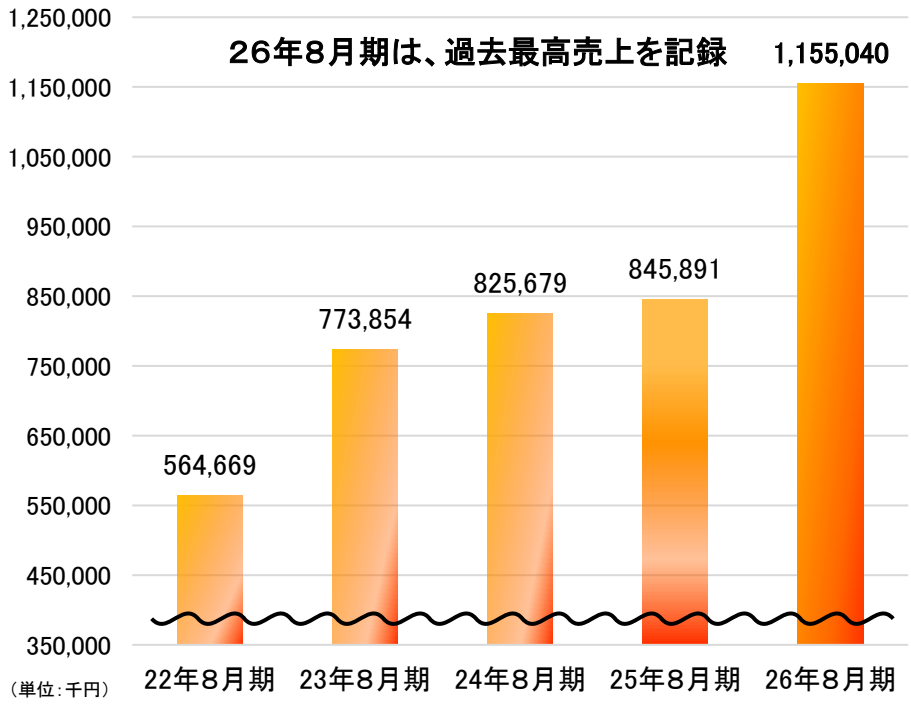
Ⅳ. 企業価値向上のための戦略的投資

IP獲得を起点としたコンテンツ開発や良質なアニメ作品の確保など、今後の持続的な成長の実現に向けた先行投資を戦略的に行い、アニメや配信をはじめとした成長事業分野は前年から大きく成長。

■ 売上高全体に占める放送事業収入・その他事業収入のシェア率



■ その他事業収入　売上高推移（過去5年）



© Nippon BS Broadcasting Corporation.

Ⅲ　通期計画

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

2027年８月期 通期計画（連結）

BS11日本BS放送

売上高は12,774百万円(前期比7.1%増)、営業利益は,2,103百万円(前期比18.9%増)、
親会社株主に帰属する当期純利益は1,541百万円(前期比18.7%増)を計画

（単位：百万円、下段は売上比）

	2026年８月期		2027年８月期				
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,834 (100.0%)	11,921 (100.0%)	5,990 (100.0%)	2.7%	12,774 (100.0%)	7.1%	852
営業利益	849 (14.6%)	1,769 (14.8%)	850 (14.2%)	0.1%	2,103 (16.5%)	18.9%	333
経常利益	876 (15.0%)	1,868 (15.7%)	870 (14.5%)	△0.8%	2,262 (17.7%)	21.0%	393
親会社株主に帰属する当期純利益	596 (10.2%)	1,298 (10.9%)	580 (9.7%)	△2.7%	1,541 (12.1%)	18.7%	242

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

2027年８月期 通期計画（個別）

BS11 日本BS放送

売上高は12,000百万円（前期比7.7%増）、営業利益は2,100百万円(前期比15.3%増)、
当期純利益は1,540百万円を計画（前期比13.3%増）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2026年８月期		2027年８月期				
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,499 (100.0%)	11,144 (100.0%)	5,692 (100.0%)	3.5%	12,000 (100.0%)	7.7%	855
タイム収入	3,875 (70.5%)	7,883 (70.7%)	3,912 (68.7%)	1.0%	8,111 (67.6%)	2.9%	227
スポット収入	1,067 (19.4%)	2,105 (18.9%)	1,030 (18.1%)	△3.4%	2,068 (17.2%)	△1.8%	△37
その他	556 (10.1%)	1,155 (10.4%)	749 (13.2%)	34.7%	1,820 (15.2%)	57.6%	664
営業利益	882 (16.0%)	1,821 (16.3%)	890 (15.6%)	0.9%	2,100 (17.5%)	15.3%	278
経常利益	911 (16.6%)	1,924 (17.3%)	913 (16.0%)	0.2%	2,260 (18.8%)	17.4%	335
当期純利益	630 (11.5%)	1,359 (12.2%)	620 (10.9%)	△1.7%	1,540 (12.8%)	13.3%	180

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

2027年8月期は、期末配当金を5円増配、35.0円を計画

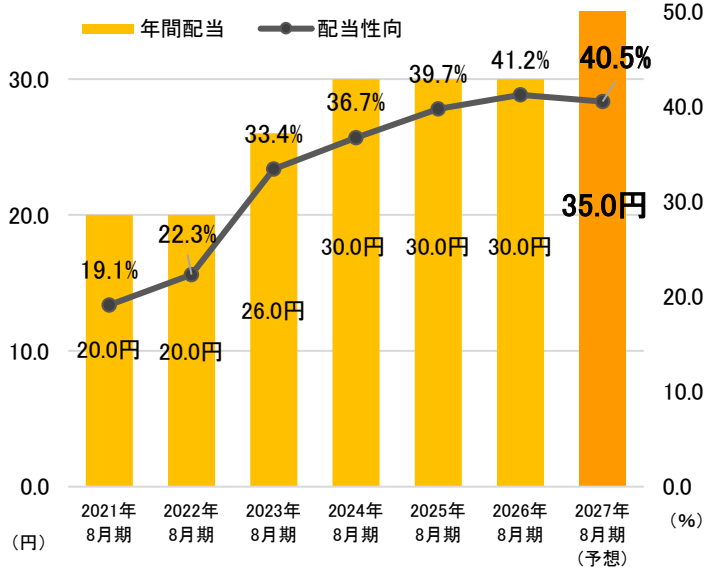
配当方針について

・企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。

・年1回の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

※1株当たり当期純利益の数値は連結で表示しております。



	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期	2027年8月期(予想)
年間配当	20.0円	20.0円	26.0円	30.0円	30.0円	30.0円	**35.0円**
1株当たり当期純利益	104.83円	89.84円	77.85円	81.70円	75.51円	72.83円	**86.41円**
配当性向	19.1%	22.3%	33.4%	36.7%	39.7%	41.2%	**40.5%**

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

今後の施策

➢ 10月改編

10月より一部レギュラー番組の放送曜日・時間を変更

音楽

放送日時変更 毎週土曜 よる9時～放送

園芸

放送日時変更 毎週木曜 よる7時～放送

歴史

放送日時変更 毎週月曜 よる8時～放送

お酒

放送日時変更 毎週木曜 よる8時～放送

紀行

放送日時変更 毎週火曜 よる8時～放送

ドラマコンテンツも引き続き強化・拡充

NEW

国内ドラマ

©「夫よ、死んでくれないか」製作委員会

中国時代劇

© Shenzhen Tencent Computer Systems Company Limited

欧州ミステリー

©Carma Films – France Télévisions. ©France Télévisions – Carma Films – Nexus Production – JLA Productions – Be-Film RTBF (Télévision belge) – 2018-2023

国内時代劇

©ABCTV/松竹

韓国ドラマ

Licensed by KBS Media Ltd. © 2025 KBS. All rights reserved

➢ 特別番組等も拡充

レギュラー番組のスペシャル版やスポーツ、食をテーマにしたものまで幅広くお届け

バラエティ

10月以降のBS11の番組の見どころや番組の魅力を、各番組から出演者が集結しお届け。

紀行

元プロ ロードレーサーとインスタグラマーの二人による福井県・嶺南地域を巡る自転車旅。

食・紀行

ゴルフ

競馬

柔道

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

今後の施策

BS11日本BS放送

➢ 10月クールも約40タイトルのアニメ関連番組を放送

©十夜/アース・スター エンターテイメント/黒竜騎士団

『転生した大聖女は、聖女であることをひた隠す』

毎週土曜よる10時00分～放送

天真爛漫な彼女のまわりでは、常に事件が巻き起こる！？

©有山リョウ／小学館／ロメリア戦記」製作委員会

©入栖・神奈月昇/KADOKAWA/「マジカル★エクスプローラー」製作委員会

©やしろ宇・講談社／TANK CHAIR製作委員会

➢ アニメ作品の価値最大化に向けた取り組みの推進

BS11 × KOTOBUKIYA

コトブキヤくじ KOTOBUKIYA KUJI

©蒼木スピカ/KADOKAWA/乙女怪獣キャラメリゼ製作委員会

今期も㈱壽屋との協業によるオンラインくじ企画を推進。BS11で放送したアニメ作品のオリジナルグッズを積極的に展開。

➢ イベント事業の推進

「JET STREAM LIVE 2026 in 渋谷音楽祭」

LINE CUBE SHIBUYAにて開催される、㈱エフエム東京の人気番組『JET STREAM』のコンサート。番組でおなじみの名曲の数々を、東京フィルハーモニー交響楽団による贅沢な生演奏でお届け。

「スクラップアンドコーラス -君が灯したメロディー-」

廃校寸前の工業高校を舞台に、教師と生徒たちが合唱に挑む。音楽を通じて生まれる絆と、夢に向かって挑戦する姿を描く青春感動作。

令和状況劇場「下谷万年町物語」

アングラ演劇の金字塔『下谷万年町物語』を都立明治公園に特設される「紅テント」にて実現。

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

Ⅳ （ご参考）会社概要

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

会社概要及び沿革

BS11日本BS放送

会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11” チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長　齋藤 知久 代表取締役社長　玉井 忠幸
設立	1999年8月
資本金	41億9,832万円 （2026年8月31日現在）
従業員数	133名（連結） （2026年8月31日現在）

沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送（BS11）開始
2010年　4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム（J:COM）において再送信開始
2011年10月	接触率調査（BSパワー調査）に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化
2022年4月	東京証券取引所市場再編により、スタンダード市場へ移行

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。

「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

当社の事業内容

BS11日本BS放送

全国無料BS放送局

グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ジャパネット	ビックカメラ	三井物産	JCOM	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS10	BS11	BS12	JCOM:BS	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系					公共
開局年月	2000年12月					2025年1月	2007年12月		2025年7月	2022年3月	2011年11月

グループ：当社及び地上波系列BS5局の計6局は、“無料BS放送６局”として視聴状況調査を実施（～2020年３月）、共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた取り組みを実施。

BS11の特徴

①独立系だからこそ**自由なコンテンツ制作・展開**が可能！

②**『ドラマ』**・**『アニメ』**・**『競馬』**など多岐にわたるラインアップ編成により、**幅広い年齢層の視聴者層**が存在！

③家電量販店**ビックカメラを親会社に持つ**ため、番組・ＣＭの放送等に加えて、**消費者へのダイレクトなコンタクトポイントが持てる企画**が可能！

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

タイムテーブル

BS11日本BS放送

BS11では曜日・時間帯ごとで視聴者ニーズに応える編成を実施
そのため、他民放BS局と比較しても**幅広い年齢層の視聴者**が存在する

ドラマゾーン
- F3
- F4

自社制作ゾーン
- M3
- M4
- F3
- F4

アニメゾーン
- TEEN
- F1/2
- M1/2
- M3

競馬ゾーン
- M3
- M4

ターゲット区分

	性別	年齢
TEEN	男・女	12-19歳
M1	男性	20-34歳
M2		35-49歳
M3		50-64歳
M4		65歳以上
F1	女性	20-34歳
F2		35-49歳
F3		50-64歳
F4		65歳以上

（2026年10月クール編成表）

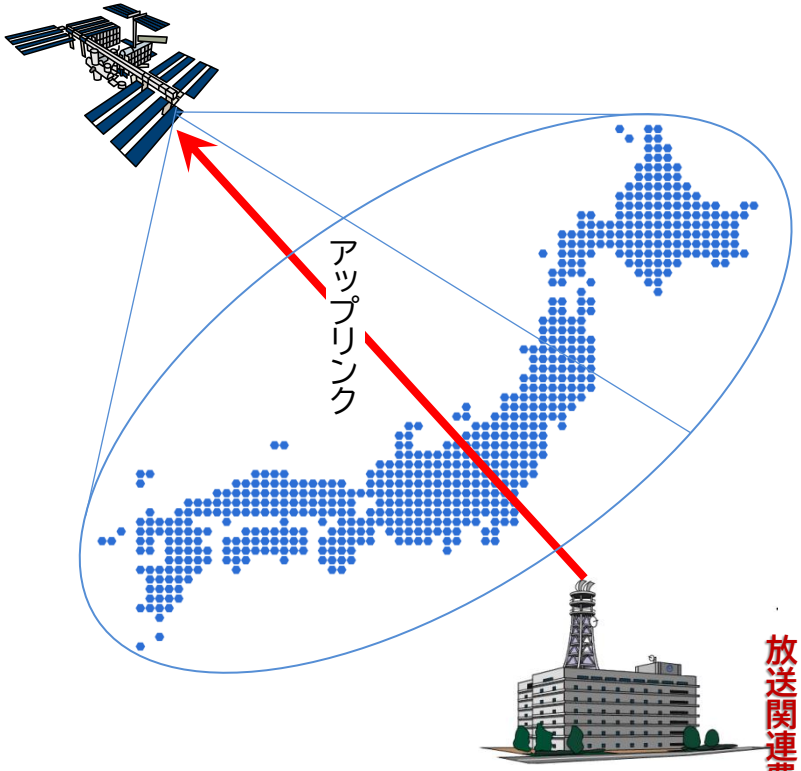
© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11 日本BS放送

【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送　⇒　効率的な広告費で日本全国に放送可能

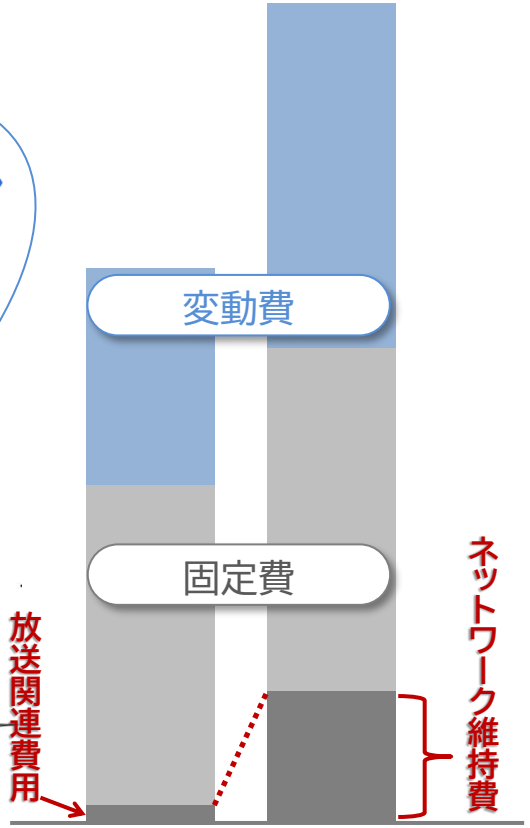
無料BS放送



・日本全国に電波の送信が可能

・ネットワークの構築が不要

コスト構造の比較



キー局系列の地上波放送

・少数チャンネル地域の存在

・嵩むネットワーク維持費

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

- 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。
その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

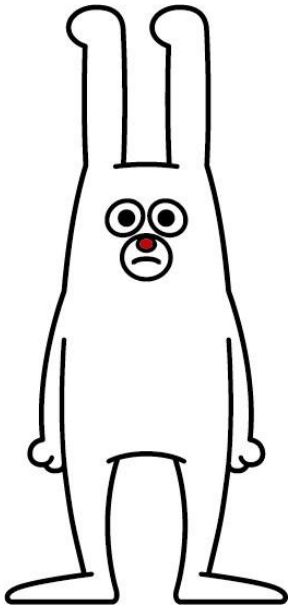
【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局　経営戦略部

TEL　03-3518-1900

URL　https://www.bs11.jp/



© Nippon BS Broadcasting Corporation.